

沙流川日高町富川地区水害タイムライン

第6回検討会(検証訓練)開催概要

平成30年3月14日(水)に日高町門別総合町民センターで「沙流川日高町富川地区水害タイムライン第6回検討会(検証訓練)」を開催しました。

タイムライン(事前防災行動計画)は、沙流川日高町富川地区で水害発生の可能性がある際に、早い段階から関係機関が連携して状況に合わせて防災行動をとるための新しい防災計画で、日高町では、沙流川の氾濫を想定して、平成29年度より検討会等を重ねてきました。第6回検討会は、これまでの検討会で整理された「沙流川日高町富川地区水害タイムライン試行版」を机上訓練形式で試行運用し、タイムラインを活用した防災対応の方法を学ぶとともに、関係機関同士の情報伝達など、試行版の運用上の問題点や課題を抽出しました。今後は、これらの検討課題を整理して、タイムライン試行版の改善、充実を図っていく予定です。



【実施日時】平成30年3月14日(水) 13:30～17:00

【実施場所】日高町門別総合町民センター2階 大集会室

【参加者】沙流川流域の防災関係機関 14機関 54名
※座長・アドバイザー、オブザーバー、事務局機関を含む

開会挨拶

開会に当たり、検討会の松尾座長から開会挨拶がありました。これまで机上で防災行動の検討・整理を行ってききましたが、これから実際に運用していくために、本日は、実際の水害場面をイメージしながらタイムラインを使ってみることで、様々な運用上の問題点や防災行動の更なる疑問点などを出し合ってもらいたい、とお話されました。



検証訓練



台風説明会開催



TL運用開始の周知



ダム放流通知文書の手渡し



志田アドバイザーによる助言



事務局協議の様子



状況付与の様子



訓練の様子①



訓練の様子②

検証訓練の冒頭に、事務局から訓練の進め方について説明し、早速訓練が開始されました。

訓練は2部構成とし、第1部はタイムラインステージの立ち上げからステージ2への切り替えまで、1時間を約2分程度で進めていきました。第2部はステージ4への切り替えから外水氾濫発生までを10分毎に進めていきました。進行役の事務局が時間を進めていき、台風の位置や降雨の状況、地域の状況などの情報を付与しました。これらの付与情報に基づき、气象台や河川管理者である室蘭開発建設部などから気象情報や河川情報が関係機関に提供され、日高町総務課からは、ステージ切り替えに伴う事務局協議の呼びかけや、住民避難の発令についてマイクでアナウンスされました。参加機関は「検証チェックシート」に、予定していた防災行動の実行の有無や行動開始の時間を記録するとともに、他機関との間で行われる情報伝達を「情報連絡票」に記載して実際に伝達しました。また、運用上で生じた問題点や疑問点などは、訓練の中で関係する機関と協議したり、検証チェックシートに記載して頂きました。

検証チェックシートと情報連絡票は、訓練終了後に事務局で回収して結果をとりまとめ、平成30年の出水期に備えて、改善・修正を行っていくこととしています。

全体講評

最後に、座長及びアドバイザーから講評を頂きました。志田アドバイザーからは、本日のシナリオと異なる状況でもリスクを軽減できるよう留意してタイムラインを改善していくこと、情報の不足・過多の中でも災害対応のプロとして必要な情報の選択をしていくことの重要性、そして、タイムラインの試行の中で災害による犠牲者を出さないよう、心して対応に当たって欲しいとの話を頂きました。松尾座長からは、早期にメーリングリストを設置して、気象官署、河川管理者、アドバイザーなどから積極的に情報共有するとともに、日高町が中心となって出水期前後に顔合わせや振り返りなどの取り組みを行い、PDCAサイクルでタイムラインの有効性を高めていってほしいとのお話がありました。

